

過去5年のドラフト指名選手と成果度

2012年／成果度 ▶B

1 松葉貴大	大阪体育大	試20	勝3	敗11	防4.14
2 佐藤峻一	道都大	退団			
3 伏見寅威	東海大	試4	率.000	本0	点0
4 武田健吾	自由ヶ丘高	試90	率.295	本2	点13
5 森本将太	福井リフレフアンズ	退団			
6 戸田亮	JR東日本	W試19	勝2	敗0	防2.25

2013年／成果度 ▶B+

1 吉田一将	JR東日本	試27	勝1	敗1	防3.62
2 東明大貴	富士重工業	試3	勝0	敗0	防4.15
3 若月健矢	花咲徳栄高	試87	率.204	本0	点17
4 園部聡	聖光学院高	W試79	率.180	本7	点25
5 吉田雄人	北照高	試9	率.000	本0	点0
6 奥浪鏡	創志学園高	退団			
7 柴田健斗	信濃グランセローズ	退団			
8 大山暁史	セガサミー	試27	勝1	敗0	防3.22

2014年／成果度 ▶B

1 山崎福也	明治大	試14	勝2	敗4	防4.03
2 宗佑磨	横浜準人高	試3	率.000	本0	点0
3 佐野皓大	大分高	W試6	勝0	敗0	防7.20
4 高木伴	NTT東日本	W試17	勝1	敗1	防3.63
5 齋藤綱記	北照高	W試9	勝1	敗3	防6.06
6 坂寄晴一	JR東日本	退団			
7 西野真弘	JR東日本	試94	率.235	本2	点21
8 小田裕也	日本生命	試36	率.063	本0	点0
9 鈴木優	雪谷高	W試26	勝1	敗0	防2.66

2015年／成果度 ▶B+

1 吉田正尚	青山学院大	試47	率.333	本10	点27
2 近藤大亮	パナソニック	試45	勝1	敗0	防2.70
3 大城滉二	立教大	試102	率.251	本2	点17
4 青山大紀	トヨタ自動車	試1	勝0	敗0	防6.75
5 吉田凌	東海大相模高	W試14	勝5	敗5	防2.52
6 佐藤世那	仙台育英高	W試10	勝2	敗0	防5.45
7 鈴木昂平	三菱重工名古屋	試63	率.088	本0	点0
8 角屋龍太	ジェイプロジェクト	退団			
9 赤間謙	鷲宮製作所	試7	勝1	敗0	防7.15
10 杉本裕太郎	JR西日本	試2	率.200	本1	点1
育1 塚田貴之	白鷲大	W試9	勝1	敗1	防4.76

2016年／成果度 ▶B+

1 山岡泰輔	東京ガス	試20	勝8	敗8	防3.13
2 黒木優太	立正大	試55	勝6	敗3	防4.22
3 岡崎大輔	花咲徳栄高	W試74	率.152	本0	点5
4 山本由伸	都城高	試2	勝1	敗0	防2.70
5 小林慶祐	日本生命	試29	勝2	敗1	防4.60
6 山崎颯一郎	敦賀気比高	W試6	勝2	敗1	防4.63
7 飯田大祐	Honda鈴鹿	W試36	率.220	本0	点9
8 澤田圭佑	立教大	試7	勝0	敗1	防5.40
9 根本薫	霞ヶ浦高	W試13	率.273	本0	点1

高校生・大学生・社会人、投手・野手と偏りなく指名している。最近では4年連続で最低8人以上と大量指名が続いている。昨年1位、2位の山岡泰輔と黒木優太は期待に応えたが、新陳代謝がうまくいっているかといえどもでもない。そのあたりが課題だ。

下位で手薄な左の救援

即戦力で層を厚くしたければ、

会では最多タイの5本塁打を記録したが、プロでは中距離打者として活躍しそうだ。広角に長打が打て、巨人の長野久義のようなタイプという将来像が描ける。
左打ちでは高松凌(滝川二高)の評価が高い。コツコツ当てるタイプで、俊足は1年目からでも代走要員となれるレベル。高校では内野手だったが、プロでは外野手のほうが花開きそうだ。

ろが玉にキス。

北川利生(日本通運)が候補に挙がる。外野を守っているが、高校大学時には捕手の経験もある。逆方向にも大きな当たりを打てるユナイティティプレーヤーとして重宝するだろう。
下位で余裕があれば手薄なりりーフタイプのサウスポも指名したい。若林篤志(JR東海)は、140キロ台の速球に変化球もスライダー、カーブ、チェンジアップ、フォークと球種も豊富だ。しかし、不用意な一発を食らうところが玉にキス。



野球太郎
イチオシ!
田嶋 大樹
(投手／左投左打／JR東日本)

1、2位は大学生・社会人、中盤で高校生を指名する傾向が近年は強く、大学生・社会人でチームの根幹ができてつあるオリックス。チーム状況として大型の一塁手、三塁手もほしいだが、それ以上に「即戦力先発左腕」の必要性を感じる。そこにピタリとハマる田嶋大樹(JR東日本)の指名をオススメしたい。高卒1年目から都市対抗などの大舞台を経験し、高いレベルで安定した投球をしてきた、という点で昨年の1位・山岡泰輔と重なる。同じような活躍が計算できる上に、ライバル同士として切磋琢磨することで、さらなるレベルアップも望める。山岡と田嶋の左右両輪が揃い、新世代のWエースとして君臨すれば投手力の安定感がグッと増すに違いない。

成績は2017年成績(9月11日現在)／Wはウエスター